

資料提供

令和元年5月12日（日）  
照会先：保健福祉部疾病対策課 健康危機管理対策室  
担当者：技佐兼室長補佐（総括） 深谷 均

麻しん（はしか）患者の発生について

5月11日、水戸市内の医療機関（病院）から水戸保健所へ麻しん疑い患者の連絡があり、県衛生研究所で検査を実施したところ、麻しん陽性と確定しました。

患者は、現在、水戸市内の医療機関（病院）で入院治療中ですが、快方にむかっております。

水戸保健所が、患者の疫学調査を実施したところ、周囲へ感染させる可能性のある時期に、不特定多数の人が利用する施設を利用していたことが判明しました。

当該施設等を感染の可能性がある日時に利用された方で、利用後10日前後経ってから、麻しんを疑う症状が現れた場合は、事前に最寄りの保健所に電話連絡の上、保健所の指示に従い医療機関を受診してください。また、受診の際は、周囲の方への感染を広げないよう、公共交通機関等の利用を避けてください。

※麻しんの潜伏期間は、約10～12日間（最大21日間）で、麻しん患者と接触した場合には、接触後3週間（21日間）注意が必要です。

【麻しん患者が利用し、接触者を特定できない施設】

感染の可能性のある日時※	施設名	所在地
5月4日（土） 16:00頃～19:00頃	MGM水戸北店	なかがちちょうまえだ 水戸市中河内町前田924
5月5日（日） 10:00頃～13:00頃	日立かみね公園レジャーランド （仮面ライダージオウ ショー）	みやたちょう 日立市宮田町5-2-22
5月5日（日） 13:00頃～14:30頃	マクドナルド6号線日立店	かしまちょう 日立市鹿島町3-4-6
5月5日（日） 16:30頃～18:30頃	スーパービバホーム水戸 県庁前店	かさはらちょう 水戸市笠原町978-41
5月6日（月）、7日（火） 8日（水）、9日（木） 6:30頃～7:40頃	セブンイレブン <small>ほこたかしわくま</small> 銚田 柏熊店	ゆつぽ かけのうえ 銚田市湯坪字掛ノ上300-3

※この時間帯以外に利用された場合、施設内においては感染の心配はありません。今後も安心してご利用ください。

【患者の概要】

- 1 患者の概要：31歳（男性）、水戸市在住、麻しん予防接種歴なし、最近の海外渡航歴なし
- 2 症 状：発熱、発疹、コプリック斑、咳
- 3 経 過 等
  - 5月5日 発熱。
  - 5月8日 39度台の発熱があるため、水戸市内のA診療所を受診。
  - 5月9日 発熱が続いたため、水戸市内のB診療所を受診。
  - 5月10日 発疹が出現。
  - 5月11日 発熱及び発疹のため、水戸市内のB診療所を再診。水戸市内のA病院を紹介され受診。  
県衛生研究所の遺伝子検査で、麻しん陽性と判明。  
A病院より水戸保健所へ麻しんの発生届。  
A病院から水戸市内のB病院を紹介され入院。

患者及び患者家族等の個人情報については、プライバシー保護の観点から本人等が特定されることのないよう、格段の御配慮をお願いいたします。

○ 麻しん（はしか）とは  
 原因：麻しんウイルス  
 潜伏期間：約 10～12 日間(最大 21 日間)  
 症状：感染すると、約 10 日後に 38 度程度の発熱や咳、鼻汁といった風邪のような症状が 2～4 日続き、その後 39 度以上の高熱と共に発疹が出現します。  
 治療：特異的な治療法はなく、対症療法  
 感染経路：空気感染、飛沫感染、接触感染で感染力は非常に強いと言われている。  
 感染症法：五類感染症、全数把握疾患（診断を行った医師は保健所に届け出ることになっている）  
 予防方法：ワクチン接種

【茨城県感染症情報センターホームページURL】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/index.html>

－ 県からのお願い －

○ 県民の皆様へ

1 麻しんは、有効な治療方法がなく、予防する唯一の手段はワクチン接種です。

麻しんの定期予防接種（第 1 期：1 歳児、第 2 期：小学校就学前の 1 年間）をまだ受けていないお父さんは、かかりつけ医に相談し、早めに予防接種を受けましょう。

また、麻しんを発症すると、多数の者に感染を引き起こしてしまう可能性が高い、医療関係者、児童福祉施設等の職員、学校等の職員等で、麻しんに未罹患であり、かつ、麻しんの予防接種を 2 回接種していない方は、予防接種を受けましょう。

2 症状から麻しんが疑われる場合、必ず事前に保健所に連絡のうえ、保健所の指示に従って医療機関を受診してください。受診の際は、周囲の方へ感染させないように公共交通機関等の利用を避けてください。

また、麻しんにかかった（検査で診断された）ことがない方が海外渡航する時には、渡航先の流行状況を確認するとともに、麻しんの予防接種歴を確認し、2 回接種していない場合、又は接種既往が不明の場合には予防接種を受けることをおすすめします。

○ 医療機関の皆様へ

発熱や発疹を呈する患者が受診した際は、麻しんの予防接種歴の確認等、麻しんの発生を意識した診療を行うとともに、臨床症状等から麻しんと診断した場合には、速やかに保健所に届出をお願いします。

また、患者（疑い含む）は個室管理を行う等、麻しんの感染力の強さを踏まえた院内感染対策の実施についても併せてお願いいたします。

【参考】

麻しん患者発生状況（全国値：2019.5.7 現在）

単位：人

	2012 年	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年
全 国	283	229	462	35	165	189	282	450
茨城県	0	0	3	0	1	1	3	11※

※2019 年には今回の事例を含む。